

## 2007年9月（先月の重大ニュース）

### 絶滅危惧に追加461種

環境省は、絶滅の恐れのある野生生物の一覧表「レッドリスト」の見直し結果を公表した。海にすむ哺乳類ジュゴン絶滅の危険が最も高い絶滅危惧1A類に分類した。また、琵琶湖沿岸の伝統食品ふなずしの材料、ニゴロバナも2番目のランクである絶滅危惧1B類に入れた。今回の見直しで絶滅の恐れがある種は461種増え、計3155種となった。（3日）

### 乾電池車、時速100キロ超す

乾電池で走る車を開発している松下電器産業と大阪産業大学のチームが、市販の単3オキシライド乾電池192本を積み込んで記録に挑み、瞬間最高で時速122（キロ）を記録した。英ギネス社は、2回の走行の平均時速105.95キロを「乾電池を動力にした車の速度」の世界最高記録として認定した。（4日）

### 被爆から62年、広島「原爆の日」

広島は被爆から62年となる「原爆の日」を迎えた。広島市中区の平和記念公園で「原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」が開かれ、約4万人が参列した。

秋葉忠利市長は平和宣言で「人類は今なお滅亡の危機に瀕している」と述べ、核保有大国の核軍縮が滞り、核拡散が続いている状況を批判した。国内外にいる25万1000人余りの被爆者の平均年齢は74歳を超えた。（6日）

### 温室ガス2.1%増も

二酸化炭素など温室効果ガスの2010年度国内排出量は、今の削減対策を続けても1990年度（12億6100万トン）比で0.9～2.1%増の12億7300万～12億8700万トンに達すると、政府が推計。京都議定書の目標は約束期間（2008～12年度）の平均で年間11億8600万トン。森林吸収や排出量取引の分を差し引いても目標に届かない。（8日）

### 中学不登校、最高の2.86%

病気などの理由なく1年間で学校を30日以上欠席した「不登校」の小中学生が、2006年度、5年ぶりに増えたことが文部科学省の学校基本調査（速報）でわかった。特に中学生は10万2940人と、全生徒の2.86%で過去最高。同省は、いじめの社会問題化で「無理に登校しなくていい」という風潮になった影響ではとみている。（9日）

### 長崎原爆忌

被爆から62年を迎えた長崎市で原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が開かれ、被爆者、遺族ら5500人が参列。長崎ではこの1年で3069人の被爆者が亡くなり、死没者の累計は14万3124人に。田上富久市長は平和宣言で、「（被爆国・日本で）原爆投下への誤った認識や核兵器保有の可能性が語られる」現実に危機感を表し、非核3原則の法制化などを訴えた。（9日）

### 食料自給率40%割る

農林水産省が発表した06年度の食料自給率（カロリーベース）は、前年度より1（ポイント）低い39%で、13年ぶりに40%を割った。コメの消費量が減ったうえ、天候不順でコメなど主要作物が不作だったのが影響した。（10日）